

(3) 大学院

I. 医学研究科医学系専攻博士課程

大学院の授業・研究・制度等について、改善と充実化を図るため、大学院委員会において種々の検討を重ね、2019年度は次の事項を実施した。

1. 研究助成制度の運営

研究の充実化と活性化を堅持することを目的として、各種研究助成制度を運営している。2019年度の採択件数は次のとおりである。

- 1) 大学院研究助成金
・2019年度採択件数：29件
- 2) 医学研究科研究推進費
・2019年度採択件数：新規2件、継続2件
- 3) 萌芽的共同研究推進費
・2019年度採択件数：新規5件

2. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の継続

筑波大学を代表校とする文部科学省がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」に連携12大学のひとつとして加わり、①がんゲノム医療人養成、②小児・AYA・希少がん専門医療人養成、③包括的ライフステージサポート医療人養成の3コースを2018年に設け、2019年度は17名が新規で受講登録をした。

3. 国立がん研究センターとの連携大学院の充実化

2020年1月16日に「第1回連携大学院生による研究発表会」を国立がん研究センター第1会議室で開催し、院生14名、教職員26名が参加した。また、連携大学院制度の開始以降、初めて連携大学院生が課程修了（学位取得）した他、連携大学院教授の学位論文審査委員会審査委員への任用も行われた。

4. 入学試験について

2019年度の大学院医学研究科医学系専攻博士課程入試を2回実施し、一次募集は2019年9月28日に、二次募集は2020年1月25日に実施した。その結果、43名（うち社会人19名）が合格、その他に転入志願者1名が合格した。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、東京大学、京都大学、千葉大学、群馬大学、東京医科歯科大学、日本医科大学、国立成育医療研究センター、ブリティッシュコロンビア大学、ハーバード大学、国立国際医療研究センターなど国内外の様々な国公立大学、研究所で広く研究を行っている。

5. その他

- ・過去の採点状況を参考に、学位論文審査の評価基準を改定した。また、審査結果報告および総合最終評価を2020年度の学位取得者よりフィードバックすることとした。
- ・大学院医学研究科医学系専攻博士課程公式ホームページのリニューアルを行い、関係者専用ページとしてパスワードを付与したコンテンツ（①執筆依頼等②公開審査情報③規則・各種マニュアル・リンク等）を新設した。

II. 医学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程

2019年度は、看護学科、看護学専攻博士前期課程・後期課程と看護の一貫教育を実現するため、学科・大学院一体化ワーキンググループを設置し、慈恵マインドを持った次世代人材を育成する循環型システムの機能構築を図った。

1. 大学院教員へFaculty Developmentの実施

2019年9月14日に兵庫医療大学から今野 理恵教授を招聘し、「質的研究におけるシステマティックレビューの方法」をテーマとした講演会を開催し、教員26名が受講した。

2. 研究助成制度について

学生に対する教育研究助成は大学院研究助成制度と研究指導費からの助成を活用している。2019年度の大学院研究助成制度採択者は9名であった。

3. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の受講状況
2019年度にがん看護学分野の学生3名が「包括的ライフステージサポート医療人養成コース」を修了した。
4. 静岡がんセンターと専門性強化へ連携
看護学教育、看護研究並びに医療、公衆衛生に関する教育研究の連携について、静岡がんセンターと協定を締結した。
5. 入学試験について
 - ・看護学専攻博士前期課程
入学説明会を2019年7月2日に実施し、23名が参加した。
入学試験出願期間：2019年8月1日から8月31日
出願資格認定試験：2019年9月8日に、口頭試問、課題レポートおよび書類審査を実施し、出願者1名が合格した。
入学試験：2019年9月15日に専門科目および外国語（英語）、面接を実施した。13名の応募があり、10名が合格した。
 - ・看護学専攻博士後期課程
入学説明会を2019年7月2日に実施し、6名が参加した。
入学試験出願期間：2019年8月1日から8月31日
入学試験：2019年9月8日に専門科目および外国語（英語）、面接を実施した。6名の応募があり、3名が合格した。
6. 修了生について
 - ・2016年度入学生2名と2018年度入学生1名の修了式を2019年9月21日（土）に挙行了。
 - ・2017年度入学生1名と2018年度入学生9名の修了式を2020年3月21日（土）に挙行了。
7. 教育課程の評価と改善
学生による授業評価は、講義終了後に科目責任者と履修生が講義内容について話し合いを持つ方式と、修了生を対象に自由記載方式のアンケートを実施している。それらの結果に基づき、科目ごとの評価を行い、授業改善につなげている。
8. 高度実践看護師教育課程（専門看護師）
専門看護師教育課程を受講した4名が専門看護師認定試験を受験した。合格者は急性・重症患者看護専門看護師1名、がん看護専門看護師2名の合計3名であった。
9. 看護学専攻博士後期課程
2019年度より看護学専攻博士後期課程を設置し、入学者は3名であった。

7) 慈恵看護専門学校の状況

看護専門学校学生数（2019年5月1日現在）

	学生総定員数	1学年定員数	1年生	2年生	3年生	計
	人	人	人	人	人	人
慈恵看護専門学校	300	100	98	108	108	314
慈恵第三看護専門学校	150	50	46	53	42	141
慈恵柏看護専門学校	240	80	82	82	77	241
計	690	230	226	243	227	696

(1) 慈恵看護専門学校

I. 教学関係

1. 学校運営に関する会議

- ① 慈恵看護専門学校運営委員会は校長、副校長、教務主任、事務長の4名をもって構成され、定例として毎月1回開催されている。